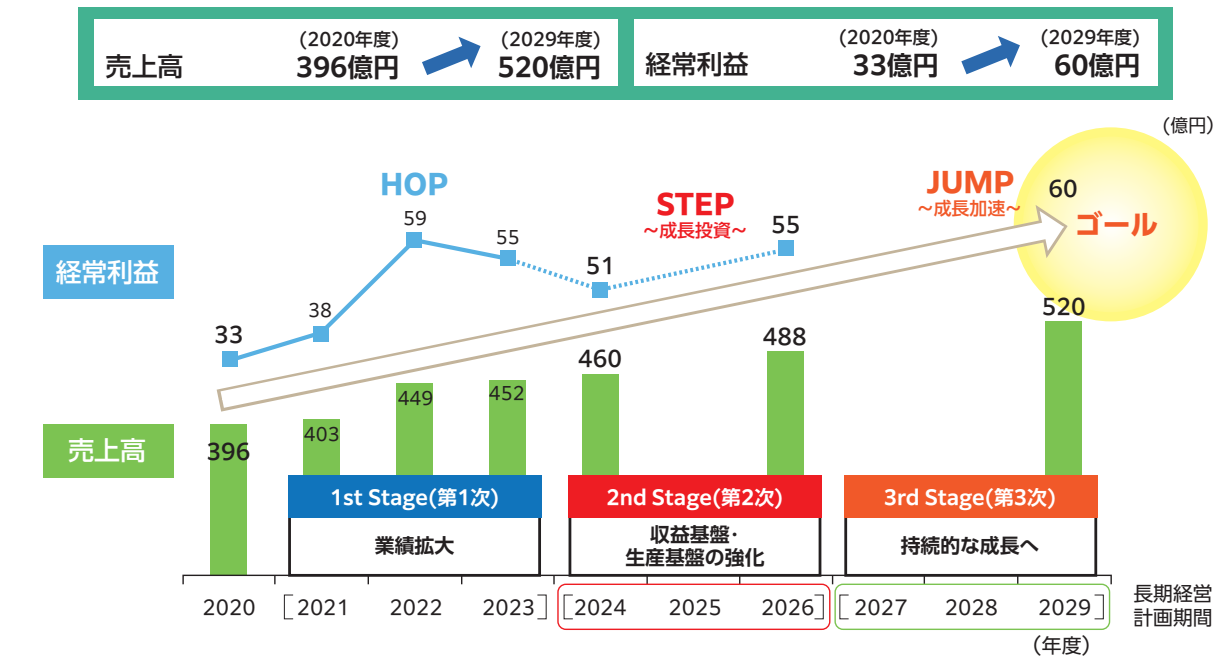


経営計画

当社グループは、2029年度をゴールとする長期経営計画「HOKKO Value Up Plan 2029」において、将来のあるべき姿に向かって持続可能な成長を成し遂げるとともに、サステナビリティの向上、マネジメントの高度化、スマート化の推進に取り組みます。

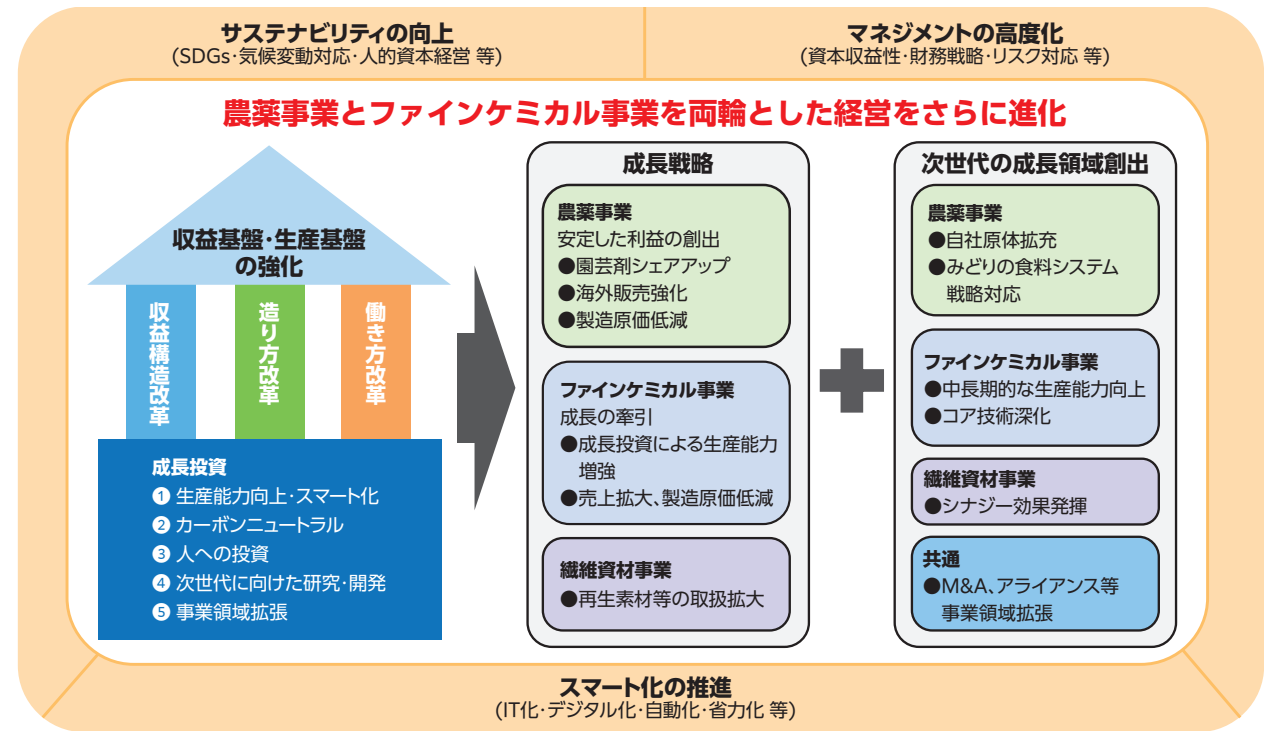
長期経営計画 HOKKO Value Up Plan 2029 未来は創造できる ～強く、豊かなHOKKOへ～



第2次3ヵ年経営計画 HOKKO Value Up Plan 2029 2nd Stage(2024～2026年度)の概要

1 計画の全体像

生産能力向上等の成長投資を基盤に、前計画から継続して取り組む3つの改革(収益構造改革、造り方改革、働き方改革)を柱として、収益基盤・生産基盤を強化していきます。



2 経営目標

第2次3ヵ年経営計画(2nd Stage)では、成長投資に集中して取り組むなかで、2026年度経営目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

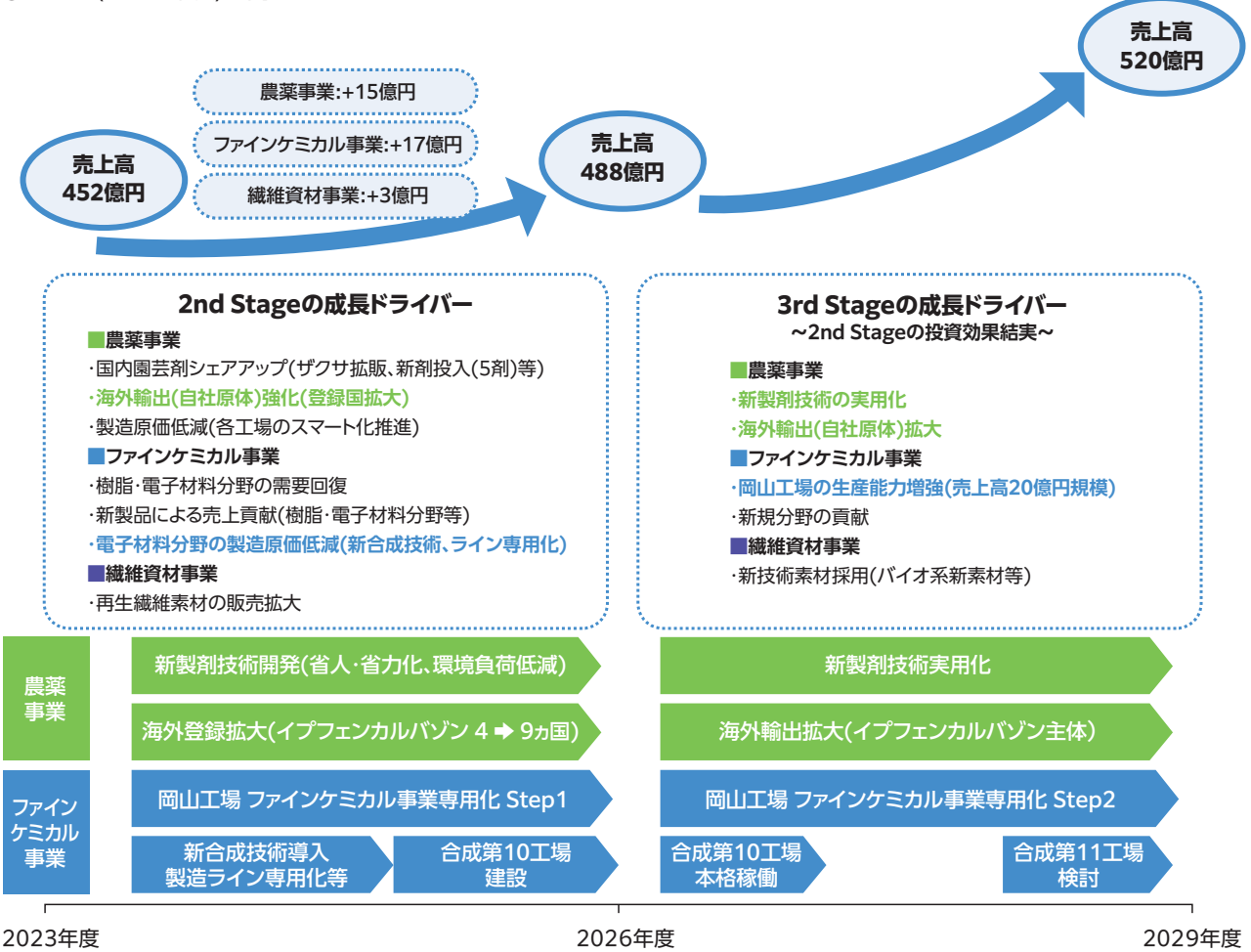
		1st Stge (2021～2023年度)	2nd Stge (2024～2026年度)	
		2023年度実績	2024年度予想	2026年度目標
業績	売上高	45,227	46,000	48,800
	経常利益	5,474	5,100	5,500
資本収益性	ROE	8.8%	—	8%以上
	ROIC	5.8%	—	6%以上
財務健全性	自己資本比率	69.3%	—	60%以上を維持

3 成長戦略

①成長投資

- 成長を牽引するファインケミカル事業の生産能力増強(樹脂、電子材料分野等)、サステナビリティ向上、次世代に向けた成長領域創出を主体として、成長分野への設備投資・投融資を進めます。
 - ・成長投資の実行に向け「戦略的設備投資・投融資枠100億円」を設定
 - ・事業領域の拡大に向けたM&A・アライアンスの活用検討を加速し、投融資枠を機動的に増枠
- 併せて、農業の再評価・新製剤技術開発・新技術開発に向けた研究開発、人的資本投資拡充を加速します。

②ゴール(2029年度)に向けたロードマップ



4 セグメント別事業戦略

農薬事業	事業戦略	主な取組事項
	国内販売強化	● 高拡散性粒剤「楽粒®」の品目拡充と普及拡大(2023年度末3剤、計画期間3剤上市) ● 園芸剤シェアアップ ● 新規除草剤の投入と普及拡大
	海外市場への取組強化	● イプフェンカルバゾンの登録国拡大と販売強化(2023年度末登録4ヵ国、計画期間中5ヵ国登録) ● 円滑な原体調達への取組および自社原体の拡販
	製造コスト低減	● 自動化・省力化の推進(工場のスマート化) ● 工場拠点の集約化推進
	研究開発強化	● 創製研究および農薬原体の開発・導入 ● 「楽粒®」に続く新規製剤の開発 ● 環境負荷低減を考慮した製品開発、天然物由来製品の開発推進
次世代の成長領域の創出		主な取組事項
自社原体の拡充		AI活用による創製研究のスピードアップ、共同開発による原体・製品の導入
新たな製剤技術の確立		スマート農業(ドローン散布等)、化学農薬使用低減に対応した製剤
みどりの食料システム戦略対応		バイオスティミュラント剤および生物農薬、天然物由来製品の開発

ファインケミカル事業	事業戦略	主な取組事項
	持続可能な生産体制の構築	● 岡山工場の施設の有効配置 ● 安定したサプライチェーンの構築 ● 岡山工場の安定稼働(BCP対応)
	高収益体質の維持・向上	● フロー合成反応等による電子材料分野の原価低減 ● 製造ラインの専用化・自動化による生産効率向上(成長品目) ● 生産工程における廃油の有効活用(製造原価低減・省エネ)
	持続的な成長	● 生産能力増強による売上拡大(合成第10工場建設) ● 新製品上市による売上拡大(開発期間短縮化) ● 海外子会社を含めたグループの販売方法(経路)最適化 ● 新技術開発の強化
次世代の成長領域の創出		主な取組事項
中長期的な生産能力向上		合成第10工場の完工・第11工場の建設検討、岡山工場再編の推進
コア技術深化・新しいコア技術開発		新製品上市による売上拡大、新規分野開拓(新技術開拓の強化・推進)

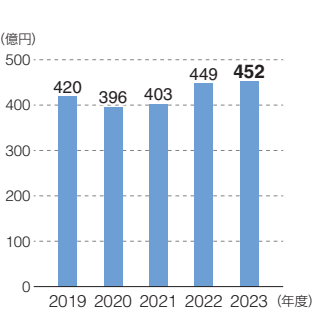
繊維資材事業	事業戦略	主な取組事項
	成長戦略の明確化と成長分野への経営資源の投入	● 再生繊維素材の取扱強化 ● ターゲットの明確化 ● 事業領域の拡張、新技術素材(バイオ系新素材等)の取り扱い ● 親会社とのシナジー効果発揮(親会社の化学合成技術を生かした新製品開発)
	ガバナンス・組織体制の強化	● コンプライアンス体制・リスク管理体制の強化 ● 人的資本投資の強化 ● 営業部門・管理部門の体制見直し(親会社機能の活用拡大と連携体制の強化)
	サステナビリティ向上とスマート化の推進	● カーボンニュートラルに向けた取組強化(再生繊維素材の取扱拡大) ● CSR調達体制の構築(親会社との連携) ● IT化・デジタル化の推進(親会社システムの活用等)
次世代の成長領域の創出		主な取組事項
グループ会社とのシナジー効果発揮		化学合成技術を活かした新製品開発
製品ポートフォリオの改革		再生繊維素材の取扱拡大、バイオ系新素材の採用

2023年度(第1次経営計画 -1st Stage-)の取り組み

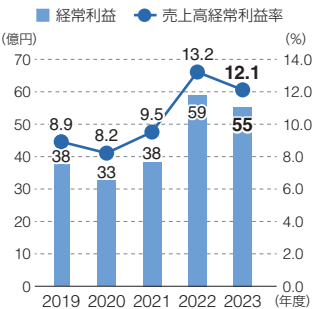
2023年度は、3つの改革「収益構造改革」、「造り方改革」、「働き方改革」を柱として、目標達成に向けた取り組みを進めました。

基本方針		2023年度の主な取組実績
収益構造改革	【成長・財務基盤強化】 安定的な売上高と収益額を確保する。	《農薬事業》 ● 高拡散性粒剤「楽粒®」の普及拡大 ● 新規園芸剤の拡販による園芸剤比率の向上 ● イプフェンカルバゾンの登録国拡大と普及推進 《ファインケミカル事業》 ● 提案型受託業務の強化(上市件数向上に向けた対応) ● 製品価値再評価による価格是正 《繊維資材事業》 ● 再生繊維素材の本格供給開始
造り方改革	【高効率化・省力化・環境対策】 高品質・高付加価値な製品を市場に提供する。	《農薬事業》 ● 新除草粒剤工場の本格安定稼働 ● 高拡散性粒剤「楽粒®」の品目強化 《ファインケミカル事業》 ● 電子材料分野における主力製品の増産対応実施 ● 新技術開拓プロジェクトの各テーマにおける取組推進 ● 岡山工場ファインケミカル専用化計画の具体化・実施開始 《共通》 ● 中長期設備投資計画対象事案の具体化、新経営計画への反映 ● カーボンニュートラルへの取組方針の策定
働き方改革	【業務効率化・人材育成】 全ての従業員がその個性と能力を十分に発揮する。	《共通》 ● 教育研修の充実・強化(マネジメント研修、工場従業員向け研修等) ● 新人事給与システムの構築 ● ITガバナンス強化への取組推進

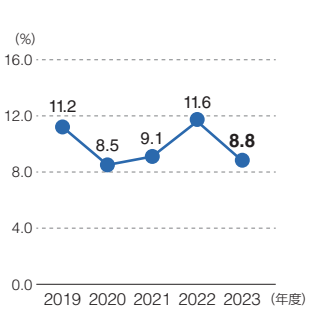
●売上高



●経常利益／売上高経常利益率



●ROE



●自己資本比率

